

風薫るキャンパス

細 川 正 義

入学式に見事に咲き揃った桜花のキャンパスで新入生を迎えられてほっとしている。関西学院のキャンパスは四季折々実によく配慮された草木が用意されていて、心を和ませてくれる。国内外からいらっしゃった方も皆さんが異口同音に誉めてくださる。そのキャンパスの最も華やかな桜花の美で新入生を迎えられたことは何よりの喜びである。

言うまでもなく、キャンパスの景観を小さな心配も見逃すことなく守ってくださる施設部を中心にしたスタッフの努力を見逃すことが出来ない。しかし、それだけでは長い歴史を潜り抜けて変らぬ景観が守られてくることは出来なかつたであろう。このこぶしの木は芽が出るのが少し遅いのでは。この桜だけ花が咲くのが遅いがどうしてだろう。キャンパスにつどう教職員、そして学生たち一人ひとりが草木を愛しキャンパスの美を守ってきたからだということも確信を持っている。

しかしもう一つ忘れてはいけないものがあると、この讃美歌を歌うたびに思い出される。349番「神の息よ」である。「神の息よ、われに吹きて～」と始る讃美歌はキャンパスの自然美の背後に神様の存在が確かにあることを感じさせてくれる。一人ひとりの新入生を迎える桜花の美は、その自然美を守ってきた関西学院の過去から現在までの実に多くのスタッフとその時時の学生によるものである。そしてそれを更に大きく包み見守ってきた「神の息」が満ちたキャンパスゆえの豊かさであることへの感謝も忘れてはいけない。

友達がいなくて寂しがっている人、すべきことが見いだせず不安のなかにいる人、みんな心配しなくとも良い。どんなに辛くても寂しくてもそれは希望のための忍耐のときであることを信じてよい。一人で内にこもらず、キャンパスの草木に目をやってほしい。そして、どんなときも見放さない仲間がいて神様がいることを確かめてほしい。

桜花の美のあとに葉桜の新緑美がまっている。そして、くちなしの甘い香美ももうすぐである。絶えること無いキャンパス美は、一人ひとりをどんなときにも見放さない愛を証している。

(文学部教授)

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

4月27日(金)神学部のために

窪 寺 俊 之

総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～

於 宗 教 主 事 室
